



vol. 40

2024.6



公益社団法人 千葉県緑化推進委員会



ちばの森林と地域をつなぐ「こどもの遊びと学び」

森林環境教育の これから



これまで森林・林業関係者が行ってきた森林環境教育に、ESD（持続可能な開発のための教育）の視点を取り入れ、学校教育の場で森林への理解を深める「森林ESD」という考え方が広がっています。質の高い森林環境教育の実践を目指し、千葉県緑化推進委員会が行っている取組をご紹介します。

森林環境教育のいま

国土の3分の2が森林で覆われた緑豊かな日本。森林は私たちにとても身近な存在でありながら、あまり目が見られない課題がありました。そんな中、「持続可能な社会づくり」と「持続可能な森林づくり」には高い親和性があることに着目し、2016年、教育現場で森林を活用することで問題解決に必要な能力・態度を身につけた人材を育てる「森林ESD」という考え方が誕生しました。特に学習指導要領等で重視されているアクティブラーニングを実践するうえで森林は適した場であり、

具体的には「森林の中で学ぶ（体験）」「森林について学ぶ（知識）」「森林のために学ぶ（実践）」を組み合わせることで教育活動を展開することが可能です。例として学校林の活用や企業・団体等による出前授業、緑の少年団の活動などが挙げられます。

当委員会は、里山の保全・整備及び活用に関わる活動を行っている民間団体等と連携・協働し、県内小中学校・保育の現場やプレーパーク等における地域に根ざした森林環境教育の推進や担い手の確保・育成のための様々な取組や支援を行っています。



校外学習で緑化推進拠点施設に来所した袖ヶ浦市内の小中学校1年生の児童たち

取組 01

千葉県の森林環境教育の推進について考える ちばの森あそび 「森林環境教育」シンポジウム

令和6年1月14日（月）、千葉明德短期大学講堂にて、「ちばの森あそび「森林環境教育」シンポジウム」（千葉県主催）を当委員会が開催事務局を担当し実施しました。このシンポジウムでは、森林環境教育や里山活動などに関わる県・市町村、教育関係機関、市民活動団体等の関係者が一堂に集まり、千葉県の森林環境教育の推進などに関する解説、基調講演、先進事例の報告による情報共有と、パネルディスカッションによる意見交換が行われました。

基調講演では、千葉明德短期大学の保育創造学科で講師を務める古賀琢也氏より、同校の学校林を利用した野外保育活動の展開と今後の課題について語られました。事例紹介で

は、山武市における森林担当部局と教育関係部局が連携した森林環境教育の展開と森林環境譲与税の活用、佐倉市立佐倉東中学校での学校林の活用と地域連携で実施する森林環境教育、そして市川市における地域の森づくりネットワークを活かした森林環境教育の取組が報告されました。

参加者からは、森林環境教育シンポジウムの継続的な開催を望む意見を多数いただきました。今後も多様なテーマや視察・ワークショップを組み合わせた行事などを千葉県ほかと連携して開催し、森林環境教育活動を県内に広めていきたいと考えています。



約50名の参加者は熱心に講演に聞き入っていました

取組 02

絵を描くことを通して緑への理解を深める 国土緑化運動ポスター原画コンクール

国土緑化推進機構の「国土緑化運動・育樹運動ポスター原画募集」に合わせ、昭和45年度より千葉県・千葉県教育委員会・(株)千葉日報社の後援を得て毎年実施している歴史のある絵画コンクールです。近年は千葉信用金庫の協賛もいただいています。

千葉県の参加者は全国で最も多く、その人数は群を抜いています。県コンクールで特に優秀な作品を全国コンクールに推薦しており、そこで「国土緑化運動」並びに「育樹運動」のポスター原画として2作品が選ばれます。その作品をもとに作られたポスターは全国的に掲示され、緑化運動のPRに大きく役立てられます。

次代を担う子どもたちが絵を描くことを通じ、緑の大切

さ、楽しさ、素晴らしさなどを理解する機会となることを願い、作品集の作成・配布や、表彰式、県内リレー式の入賞作品展示会の実施など、工夫を凝らして実施しています。



(上)毎回素晴らしい作品が多く寄せられ、優秀作品の選定に審査員は頭を悩ませます
(右上)全国で掲示される緑化運動ポスター
(右下)令和5年度国土緑化運動ポスター原画コンクールの表彰式



取組 03

幼少児の緑との触れあいを促進 みどりの教室

千葉県の森と自然を活用した「森林環境教育」や「自然保育」による幼少児の育成を促進するため、幼稚園教諭や保育士、県民を対象とした「みどりの教室」を開催しています。樹林地や草地で採取した「葉っぱ」などを使った幼児目線による「自然遊び」や、五感を通じて自然を感じる体験など、実習を中心とした研修会としています。

また、各種団体とタイアップし「県民が自然に親しむ活動」を支援しています。



幼児と同じ目線で、樹林・草地での自然遊びを体験

緑づくりの担い手を育てる 千葉県みどりの少年団交流集会

第42回

「持続可能な森づくりを 考えてみよう」



緑づくりの将来の担い手である子どもたちを心豊かな人間に育てる「みどりの少年団」。千葉県では23市町村で61団の少年団が活動しており、当委員会は県内の少年団が一堂に会する交流集会を実施しています。ここでは2年間の取組をご紹介します。



開催日 令和4年 10月15日(土) 参加人数 28名

人工林が本格的な利用期を迎えた今、「伐る、使う、植える、育てる」といった森林資源の循環利用の推進が重要です。今回はこれらをギュッと凝縮した体験をし、開催テーマの「持続可能な森づくり」についてみんなで考える機会として実施しました。参加された保護者の中に、かつてみどりの少年団員として活動されていた方がいらっしゃり、ここでも「森づくりの持続性」を強く印象づけられました。



第43回

「冬の森で遊びと学び」

今回は、立木を活用した冒険あそびや、集めた枝葉などの自然素材を使った体験などの森林環境教育プログラム、二次元バーコード付きの樹名板を利用したウォークラリーなどを、日本森林インストラクター協会、千葉県冒険遊び場ネットワーク、リトカルのご協力をいただいて親子参加で実施しました。

木登りやロープを使った冒険あそび、秘密基地づくりなど、日常ではなかなかできない遊びを子どもたちが体験し、森あそびや様々な体験ができる機会をもっと作ってほしいという声が聞かれました。



開催日 令和6年 1月20日(土) 参加人数 14名



みどりの少年団を結成しませんか？

学校や、地域などでみどりの少年団を結成しませんか？
ご興味ございましたら8ページをぜひご覧ください。

森林環境教育を推進(支援)するため、国土緑化推進機構と連携した助成事業を行っています。

学校林を活用した 森林環境教育促進事業

学校林を活用した小・中学校の森林環境教育(林業体験活動を含む)を促進するため、森林環境教育活動の支援が可能なボランティア団体等と連携して実施する事業です(助成金額300千円以内)。



学校環境緑化モデル事業

学校環境の緑化等整備を通じ、森林環境教育の推進を図ることを目的とする事業で、具体的には学校敷地内の緑化

(樹木の植樹、剪定等整備)をはじめ、環境教育フィールド(ビオトープなど)の整備等に対し助成しています(助成金額500千円の定額)。

千葉県では、こうした助成事業を受け、森林環境教育の推進に熱心に取り組む学校が多く、希望が年毎に増加しているように感じます。

なお、上記事業のほか、国土緑化推進機構による緑の募金公募事業にも様々なメニューがございますので、希望される内容にできるだけマッチした事業の提案をいたします。

公募型助成事業のため、必ずしも希望に添えるものではないかもしれませんが、ご興味ございましたらお気軽にご相談ください。



森づくり・人づくりの取組を支援しています。

パートナーシップ総合相談窓口

森林整備活動等への新規参入、地域活動団体との連携・協働、活動団体への支援(寄付・協賛)、自主活動への協力依頼(業務委託等)などの相談の受け皿として、「パートナーシップ総合相談窓口」を開設し、皆さまのご要望に幅広く対応しています。

当委員会と5つの民間の森林・里山活動支援団体が連携して「ちば里山イノベーションハブ」(通称CSI)を構成し、必要に応じて県・市町村との連絡調整も図りながら、皆さま

からの様々な活動や支援等のご相談に応じてコーディネートいたします。CSIの豊富な専門人材や多様な経験を活かし、効果的な支援を行ってまいります。

活発に意見交換しています!



【コーディネート例】

- 森林整備や青少年育成活動への参加や実施、活動団体への支援等のマッチングやサポート
- 体験研修会への参加や社内研修への講師派遣の紹介など



総合相談窓口サイト
千葉県緑化推進委員会
公式HP内

今回の学校は

学校林を活用した野外保育活動

—学校法人 千葉明德学園—

斜面林を教育の場に

千葉市中央区にある千葉明德学園のキャンパス内には、約1haの斜面林があります。かつては人の手が入らず放置されていましたが、子どもたちのために活用しようと、学園理事長の福中儀明氏が2000年から10年の歳月をかけて整備を行いました。「めいとくの森」と呼ばれるこの森林では、現在150種以上の樹木が生い茂り、豊かな自然環境が保たれています。

認定こども園千葉明德短期大学附属幼稚園では、職員用の資料として植物図鑑を作成しています。「樹木の名前を調べるのに3年かかりました(笑)。これまでは保育者も樹木の知識が乏しく、自然を持って余っていたんです」と話すのは、樹木調査を行った主幹保育教諭の館野さん。「樹木にもネームプレートをつけ、図鑑の植物を探せるようにしていますが、あえて全てには付けていません。保育者が園児たちに“上から教える”のではなく、園児たちと同じ目線で“これは何だろう”と一緒に樹を探る体験をしてほしいのです」。そうすることで、保育者は子どもに共感しながら、子どもと信頼関係を築いていくことができるのだそうです。

自然の中でのびのびと遊び、学ぶ

「めいとくの森」のうち、附属幼稚園の園庭に隣接する約1,300㎡の森林は、3～5歳児の遊び場、保育を学ぶ学生の教育の場として活用されています。園児たちは、斜面を登り下りしたり、葉っぱを集めたり、理事長が森の手入れをしている様子を観察したりと、元気いっぱい遊んでいます。園児たちには急と思える斜面も、ジグザグに下りたり、友達と手をつないで下りたりと、自然の中で安全に遊ぶ方法を次第に身に付けていきます。



森の中でのびのびは無限大!



たくさんとんぐりを拾ったよ!



葉っぱ遊びも楽しいよ!

また、1～2歳児の遊び場として約400㎡の樹林地が整備されており、3～5歳児の園舎と斜面林沿いに遊歩道でつながっています。園児たちは足元の石つづで遊んだり、小さな生き物などに出会ったりしながら散歩を楽しんでいます。豊かな自然の中でのびのびと遊びながら、いつのまにか成長している子どもたち。そのみずみずしい感性には驚かされると先生方は話します。

附属幼稚園では、3～5歳児の園庭を交流の場として保護者や地域の方に開放する「園JOY」という活動を行っています。開放日には、園児たちの園生活を見ながら園庭で一緒に遊んだり、環境整備を手伝ったりと、自然と関わりながら楽しく過ごす機会が設けられています。「街中ではむやみに木の枝を折ったり花を摘んだりしてはいけません。でもここなら、もっと自由に自然と関わって遊ぶことができます。今後は、自然体験会などに地域の方々を招待して交流を深め、自然体験教育を広めていきたいですね」と館野さんはほほ笑みます。

この本 オススメします。 a bookshelf.



センス・オブ・ワンダー
著者/レイチェル・カーソン
訳/上遠恵子
新潮社 1,650円(税込)

雨のそぼ降る森、嵐の去ったあとの海辺、暗れた夜の岬。そこは鳥や虫や植物が歓喜の声をあげ、生命なきものさえ生を祝福し、子どもたちへの大切な贈り物を用意して待っている場所……。未知なる神秘に目をみはる感性を取り戻し、発見の喜びに浸ろう。



もりのかくれんぼう
作/末吉暁子 絵/林 明子
偕成社 1,100円(税込)

書館協議会・選定図書、日本図書館協会選定図書に選定されたロングセラー。

今回ご紹介した2冊のいずれかを各1名様にプレゼントします。ハガキに、ご希望の書名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、(公社)千葉県緑化推進委員会「プレゼント」係にご応募ください。また、本誌をご覧になった場所、ご意見、ご要望もお書き添えください。あて先は8ページ下、締め切りは令和6年9月末日(当日消印有効)です。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

TOPICS



森林管理や県土保全の取組を推進

緑化推進委員会は、林業の担い手の確保・育成の支援(林業労働力確保支援センター事業)や、県土の保全や森林整備に必要な路網整備の支援(治山・林業事業)を行っています。令和5年度の取組をご紹介します。

林業労働力確保支援センター事業



01 林業就業希望者体験会

林業事業体対策事業(千葉県補助事業)の一環として、令和6年1月9日(火)から26日(金)までの15日間、千葉県森林組合南部支所植畑研修室、君津市法木(君津市有林)ほかを会場に、林業就業希望者体験会を実施しました。この体験会では、林業についての知識や技術を学び、資格を取得するための講習と実技を行いました。また、県内の林業事業体との面談会を開催し、円滑な就業に向けた支援も行いました。今回は4名の方が受講されました。



02 県立君津青葉高校生の間伐作業体験

令和5年11月28日(火)、2年生を対象に、選木、伐採、搬出等の1日間伐作業体験を実施しました。参加された高校生11名は、指導を行った林業家(千葉県林業研究グループ連絡協議会の会員)と森林作業や森林経営について意見交換等も行い、林業就業へのきっかけにもなったのではないのでしょうか。将来の林業家として、また林業関係事業体への就業が期待されます。



03 森林の仕事ガイダンスで林業就業相談

令和5年12月2日(土)、東京国際フォーラムで開催された森林の仕事ガイダンス(全国森林組合連合会主催)に出展し、林業就業を希望する約50名の方々と面談形式による相談にあたりました。

治山・林道事業



01 森林・林業技術講習会

森林・林業に携わる林業技術者等の、最新の技術等を含めた知識・技能の習得やスキルアップを目的に、令和6年3月1日(金)、「緑化推進拠点施設(袖ヶ浦市長浦)」とオンライン会議形式を併用して技術講習会を実施しました。今回の講習題目は「災害発生予測や災害状況把握におけるICT、ドローン技術の運用について」と、「森林域における災害の実態と対応について」とし、32名の方が受講されました。



02 千葉県産材使用木製品の設置

地球温暖化や山地災害の防止に森林が果たす機能を維持増進するため、国全体で森林整備や木材利用を進めています。この中で、当委員会では、森林整備のための林道づくりや、災害を防ぐための治山事業の支援を行っています。支援の一環として、千葉県産の木材を使った長椅子などを市町村の公共施設に配布・設置し、木材利用の普及啓発を図りました。



03 治山林道事業関係コンクール

林道の維持管理や治山・林道工事の施工技術の向上を目的に、千葉県治山林道事業関係コンクールを実施しました。最優秀賞を受賞された有限会社グリーンマジック様の施工による防災林造成工事(匝瑳市野手)を、日本治山治水協会及び日本林道協会が行う全国コンクールに推薦した結果、治山工事コンクール部門で日本治山治水協会会長賞を受賞されました。

～森林を守る 森林を活かす～ 緑の募金にご協力ください



令和6年度 緑の募金運動
目標額 3,100万円

春季募金期間 3月1日～ 5月31日
秋季募金期間 9月1日～10月31日

緑の募金は、県内各地で行われる様々な緑化や森林整備の活動に活用されており、「SDGsの達成や、カーボンニュートラルの実現に貢献する活動」のひとつとして、改めて大きな関心が寄せられています。

持続可能な地球環境を、県民の皆様が一緒になって支えていただくたく、緑の募金にご協力をお願いいたします。

県下全域でご協力いただいている自治会（ご家庭）や学校での募金をはじめ、企業・職場単位の募金、募金箱や募金付き自動販売機の設置なども推進しています。

ご関心、ご協力の際には当委員会までご連絡をお願いいたします。

令和5年度の募金総額は36,025,496円に達しました。世界的に不安定な社会状況下ながら、みどりの重要性を深くご理解される県民の皆さまから、たくさんの募金が寄せられました。学校や公園といった身近な環境の緑化や、緑の少年団に代表される森林環境教育、森林ボランティア活動の支援などに大きく役立てられました。



🐱つながる募金 緑の募金がキャッシュレスでも！

ソフトバンク社のご協力により、スマホやパソコンから簡単に寄付ができるつながる募金の利用を開始しました。つながる募金では、以下の方法で寄付ができます。

- ◆携帯電話の利用料金と一緒に寄付（ソフトバンクユーザー限定）
- ◆ソフトバンクポイントで寄付（ソフトバンクスマホをご利用の方限定）
- ◆クレジットカードで寄付（どなたでも可能）

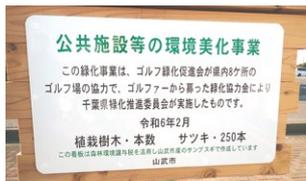
詳細はこちらから



<https://c-green.or.jp/6386/>

令和5年度公共施設等の 環境緑化事業を実施しました

（公社）ゴルフ緑化促進会並びに県内協力ゴルフ場のご協力のもと、プレイヤーによる緑化協力金を原資に、市町村から希望が寄せられた下記の公共施設に植樹を行いました。



市町村	場所	樹種・本数
山武市	道の駅オライはすぬま	サツキツツジ250本

★県内の協力ゴルフ場

我孫子ゴルフ倶楽部、源氏山ゴルフクラブ、千葉カントリークラブ（梅郷コース・川間コース・野田コース）、千葉市民ゴルフ場、東庄ゴルフ倶楽部（令和6年4月現在）

令和6年度国土緑化運動ポスター 原画コンクール 作品募集

次代を担う子どもたちが絵を描くことを通じて、緑の大切さや楽しさ、素晴らしさなどを理解する機会となるよう、令和6年度も国土緑化運動ポスター原画コンクールを実施します。今年もたくさんのご応募をお待ちしております。

なお、応募は全て学校単位となり、個人での応募は受け付けておりませんのでご注意ください。

詳しくは当委員会のホームページをご覧ください。

みどりの少年団を結成しませんか

みどりの少年団は、少年少女たちが自然に親しみ、みどりを育む自主的な活動を通じて、責任感や協力の精神を養い、明るい社会人として成長することを目指しています。活動には毎年助成金を受けられるほか、千葉県みどりの少年団交流集会や指導者向けの研修会に参加することもできます。

当県では学校型の少年団が多いですが、地域の子ども会やスポーツチームなどが、一定のみどりづくり活動を行う場合、みどりの少年団として結成することが可能です。ご興味をお持ちの方は、ぜひお問い合わせください。



緑化推進委員会の 賛助会員になりませんか

千葉県緑化推進委員会では「賛助会員」を随時募集しております。賛助会員とは、緑化推進委員会のメンバーとして安定した運営と事業の推進を応援いただくものです。

法人・個人を問わず広く皆様のご入会をお待ちしております。

会費 1口10,000円/年



表紙の絵

表紙の作品は令和5年度国土緑化運動ポスター原画コンクールにおいて、中学校の部、千葉日報社賞を受賞した、鵜澤 里彩さん(中1)の作品です。



2024年6月発行

発行／（公社）千葉県緑化推進委員会 URL <https://c-green.or.jp/>

〒299-0265 袖ヶ浦市長浦拓2号580-148

TEL.0438-60-1521 FAX.0438-60-1522